

山梨県埋蔵文化財センター

YAMANASHI Pref
ARCHAEOLOGICAL Cultural
Properties Center

埋文やまなし

2004.7.15



第18号

はじめまして 稲荷櫓です!



平成13年から3年の歳月をかけた稲荷櫓台石垣改修工事・稲荷櫓復元工事が終了し、平成16年4月9日(金)午前9時に稲荷櫓がオープンしました。

当日は晴天のもと、山本知事、皆川県議会議長をはじめ、多くの方々のご列席のなか、約130年ぶりに堂々とした白壁の姿が公開されました。

櫓の内部には、柱や壁に使われた檜などの木の香りが充満し、格子窓から景色を楽しむ人、甲府城の歴史や伝統技術の解説に聞き入る人など思い思いの見学をしていました。



オープニング式典

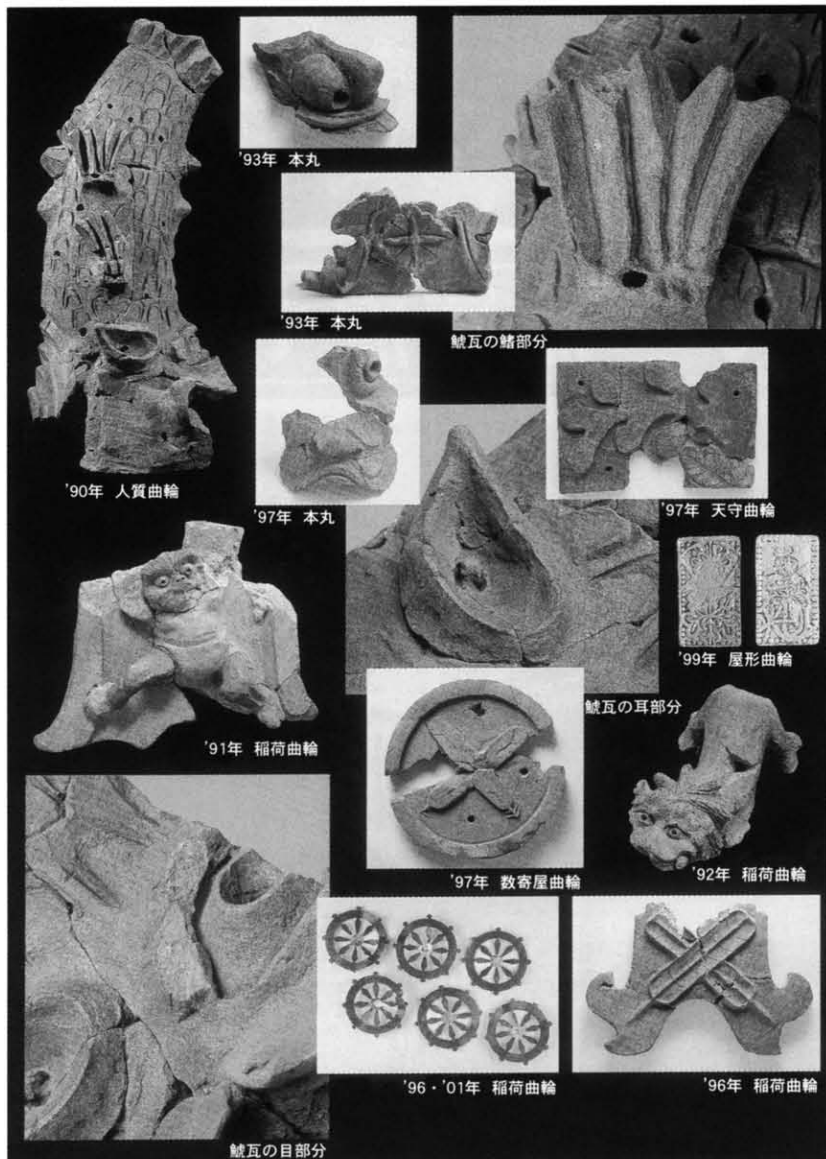
ご案内

月曜日・祝祭日の翌日・年末年始を除く午前9時から午後4時まで 入館無料

「甲府城発掘展」 —公園整備と発掘調査の成果から—

期間 平成16年4月9日（金）～18日（日）

会場 舞鶴城公園恩賜林記念館1階



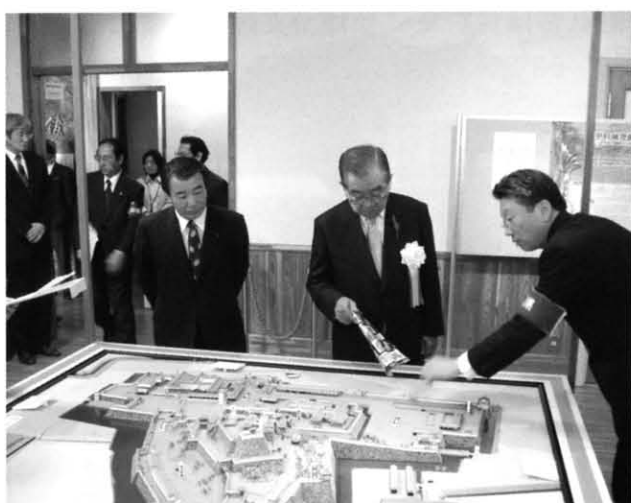
甲府城から出土した遺物（『甲府城発掘展』資料を一部修正）

センターでは平成2年から県指定史跡甲府城跡の発掘調査を実施してきました。今回の展示会では、甲府城が豊臣秀吉の命により築城されたお城である証拠といえる出土品として「桐紋」（豊臣氏家紋瓦）・「違い鷹の羽」（浅野氏家紋瓦）をはじめ、豊臣城郭の特徴である金箔の貼られた鯨瓦・鬼瓦を展示しました。また、最近各地で発見された甲府城の絵図や古写真、14年間におよぶ調査・整備工事について紹介しました。

開催期間中におよそ4千名の方が入場し、出土品を前に職員の説明に聞き入り、あるいは熱心に質問をしていました。

また、江戸時代中頃の絵図をもとに作成した300分の1の甲府城模型も展示しました。見学者の方々は、現在3分の1程度（約6分）の大きさになってしまった甲府城本来の雄大な姿を目の当たりにして、当時は多くの建物が城内に建ち、とても大きなお城であったことを実感していました。

なお、現在この模型は、稲荷櫓の2階に展示しています。



知事の視察



解説風景

“山梨の遺跡展2003”の報告



当センターでは、年度末に県内の発掘調査の成果を展示する「遺跡展」を開催しています。昨年度に行われた県内の発掘調査133件のうち、興味深い発見があった遺跡をとりあげ、平成16年3月13日（土）から4月4日（日）まで「山梨の遺跡展2003」を実施しました。開催期間中に695名（記名者数）以上の方々にご来場して頂きました。ここでは、出展した遺跡の概要について、報告します。

また、今年度も開催しますので、ご期待下さい。

● 埋蔵文化財センター出展遺跡等 ●

出展遺跡名(市町村名)	発掘調査・整備事業の成果	出展した遺物等
1 井坪遺跡(富士河口湖町)	土器片約300点が集中する箇所(縄文)・畑跡(平安)	深鉢など(縄文)
2 炭焼遺跡(富士河口湖町)	遺物包含層(縄文時代～中近世)、土坑・焼土遺構(平安)	土錘・火打金(平安)
3 足原田遺跡(山梨市)	土器捨て場(古墳)・竪穴住居跡6軒(平安)	壺・甕・高坏など(古墳時代)、 坏・甕・紡錘車・鎌(平安時代)
4 小井川・小河原遺跡(田富町)	杭打ち溝2条・墓4基・土留め遺構(近世)	陶磁器(中世)、陶磁器・銭貨など(近世)
5 鯉沢河岸跡A地区(鯉沢町)	屋敷群(近世・近代)	陶磁器・煙管・釘など
6 甲府城跡(甲府市)	稲荷櫓の復元事業	パネル展示
7 青柳河岸跡(増穂町)	江戸時代の河岸跡の関連遺構(近世)	陶磁器・礎石・杭
8 埋蔵銭貨出土遺跡詳細分布調査	銭貨の分類などの紹介	パネル展示
9 甲府城柳門(甲府市)	堀に面する石垣の入隅部(角のこと)と石段の一部	パネル展示
10 資料普及課	普及事業の紹介	パネル展示

● 市町村教育委員会出展遺跡 ●

出展遺跡名(調査機関)	発掘調査・整備事業の成果	出展した遺物等
1 諏訪原遺跡(明野村教育委員会)	竪穴住居跡約60軒・土坑約400基(縄文)	土偶装飾付土器
2 長田口遺跡・中畑遺跡(南アルプス市教育委員会)	竪穴住居跡(縄文)、集落跡(弥生～古墳)、墳墓(古墳)	深鉢・石錘・石皿など(縄文時代)、 壺・台付甕など(古墳時代)
3 末法遺跡(敷島町教育委員会)	竪穴住居跡3軒、方形周溝墓3基、溝跡2条(古墳)	高坏・器台・管玉・ガラス小玉など
4 竜塚古墳(八代町教育委員会)	墳丘斜面のテラスや葺石と墓坑に伴う木棺	壺・小型壺・高坏
5 上窪遺跡(玉穂町教育委員会)	水田跡・噴砂(平安)、溝跡7条・ピット(室町)	かわらけ・すり鉢・茶臼・漆椀など(室町)
6 大間々遺跡(上野原町教育委員会)	竪穴住居跡13軒・掘立柱建物跡5軒・土坑約25基・ピット約30基(平安)	土師器坏・皿・甕・仏鉢型土器、 須恵器坏・甕・転用硯、銅製鉸具
7 梅之木遺跡・永井原V遺跡(明野村教育委員会)	竪穴住居跡(梅之木遺跡・平安)、牧馬の逃亡を防ぐ溝(永井原V遺跡・平安)	焼きごて、墨書土師器
8 谷戸城跡(大泉村教育委員会)	14～15世紀代の遺物・改修を受けた跡(中世)	かわらけ・卸皿・緑釉小皿・硯
9 丹波山金山遺跡(丹波山金山遺跡学術調査団)	金採掘遺構・露天掘り(中世)	挽き臼・磨り臼・内耳土器



諏訪原遺跡遺物出土状況



大間々遺跡遺物出土状況

埋蔵文化財センター新規事業の紹介コーナー

山梨県内中世寺院分布調査

山梨県教育委員会では、埋蔵文化財の保護の対象とする時代の範囲として「おおむね中世まで」とすることを原則としています（山梨県教育委員会「山梨県教育委員会埋蔵文化財事務取扱要項」平成12年4月1日施行）。「中世」とは今から約900年前から400年前頃（鎌倉時代～安土・桃山時代頃）を指し、戦さや争いごとが絶えない不安定な時代であったと言えます。中世に属する遺跡には城郭（城・館・烽火台）や町・村跡など様々ですが、忘れてならないのが「寺院」つまり「お寺」です。中世のお寺は町や村の中心として栄えた場合が多く、また人々の心の拠りどころとなった場合も多いため、中世の社会や人々の暮らしを探るために欠くことのできない「遺跡」であると言えます。

山梨県内には約3,000カ所近い中世の寺院があると考えられていますが、そのほとんどは埋蔵文化財包蔵地（遺跡のある場所）として把握されておらず、日々損なわれつつある非常に残念な状態にあります。そこで、山梨県埋蔵文化財センターでは本年度から5カ年計画で「山梨県内中世寺院分布調査事業」を開始することになりました。この調査では、山梨県内の中世に寺院があった場所やその歴史をできるだけ明らかにし、将来的に埋蔵文化財包蔵地として保護・活用していく基礎資料とすることを目的としています。

山梨県内の中世寺院には、今でも続いているお寺もありますが、すでになくなってしまっているお寺もあります。皆さんの家の近くにも「昔、この辺りにお寺があった」とか「古い瓦や石造物が出てきたことがある」という言い伝えはありませんか？もしかするとその場所には中世寺院があったかも知れません。埋蔵文化財センターでは多くの県民の皆さまからの情報提供をお待ちしています。情報をお持ちの方はぜひ下記担当までご連絡下さい。



長谷寺（東山梨郡春日居町鎮目字菩提）の調査風景
—平成3年度調査—

担当：山梨県埋蔵文化財センター資料普及課 資料第2担当（森原・森屋）

電話/055 - 266 - 3016 FAX/055 - 266 - 3882 電子メール/morihara-thb@pref.yamanashi.lg.jp

編集後記

今回は稲荷櫓をはじめ、遺跡展・新規事業を紹介しました。今年度も発掘調査の経過報告や成果を掲載していきたいと思っておりますので、皆様からのご意見・ご感想や情報提供などをお気軽にお寄せ下さい。

maizou-bnk@pref.yamanashi.jp（編集担当）

山梨県埋蔵文化財センター

埋文やまなし 第18号

発行日 2004（平成16）年7月15日

編集 山梨県埋蔵文化財センター

発行 〒400-1508 山梨県東八代郡中道町下曾根923

TEL055-266-3016 FAX055-266-3882

印刷 株式会社南堂印刷所